

18 世紀フランス 『百科全書』研究の 現状と課題

21世紀になって、『百科全書』研究の支持体や道具が大幅に変化し、研究スタイルも変化した。とはいえ、20世紀にもたらされた人文学的な研究成果を無視するわけにはいかない。20世紀の『百科全書』研究における支持体や道具、研究成果をまずは大雑把に紹介し、ついで21世紀の『百科全書』研究における支持体や道具を、主としてWeb上で実際に見てもらい、現在の『百科全書』研究が抱える問題や、その解決の方向性を論じたい。

画像出典：IPA「教育用画像素材集サイト」<https://www2.edu.ipa.go.jp/>

日時 2016 年 **2/27** (土) 16:00 – 18:00

会場 **愛知県立大学 名駅サテライトキャンパス**
愛知県産業労働センター ウィンクあいち 15 階 (名古屋市中村区名駅 4-4-38)

講師 **寺田 元一 氏** (名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授)

参加費無料
・
申込不要
(定員 70 名)

主催：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学 特別協力：名古屋市立大学

【問合先】

愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3
TEL:0561-76-8843 E-mail:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

〈会場アクセス〉

JR、地下鉄、名鉄、近鉄 「名古屋」 駅より徒歩 5 分
※ご来場の際には、公共交通機関をご利用ください。

